

むかわ町地域公共交通活性化協議会

平成20年2月27日設置



概要

むかわ町は、北海道胆振管内の東端に位置し人口は7,664人(2021年4月現在)。東西、北部は日高山脈系の外縁部に囲まれ、南部は太平洋に面しており、中央には全国でも屈指の清流度を誇る一級河川「鵡川」が穏やかに貫流しています。平成18年(2006年)、旧鵡川町、旧穂別町との新設合併により胆振管内で最も大きい面積(711.36km²)を有しています。

○地域公共交通の現況

- ・JR日高本線(鵡川駅、浜田浦駅)
- ・道南バス(株)(町内3路線、日高沿岸線3路線、高速バス1路線、新千歳空港直行便1路線)
- ・あつまバス(株)(鵡川線1路線)
- ・町営バス(町内10路線) ※道南バス(株)運行路線含む

○地域公共交通の課題

- ・交通サービス維持のための財政負担や運転手不足
- ・町民ニーズや交通弱者に配慮した運行体系の改善
- ・交通結節点が担う機能と役割の整理

○調査の主な内容

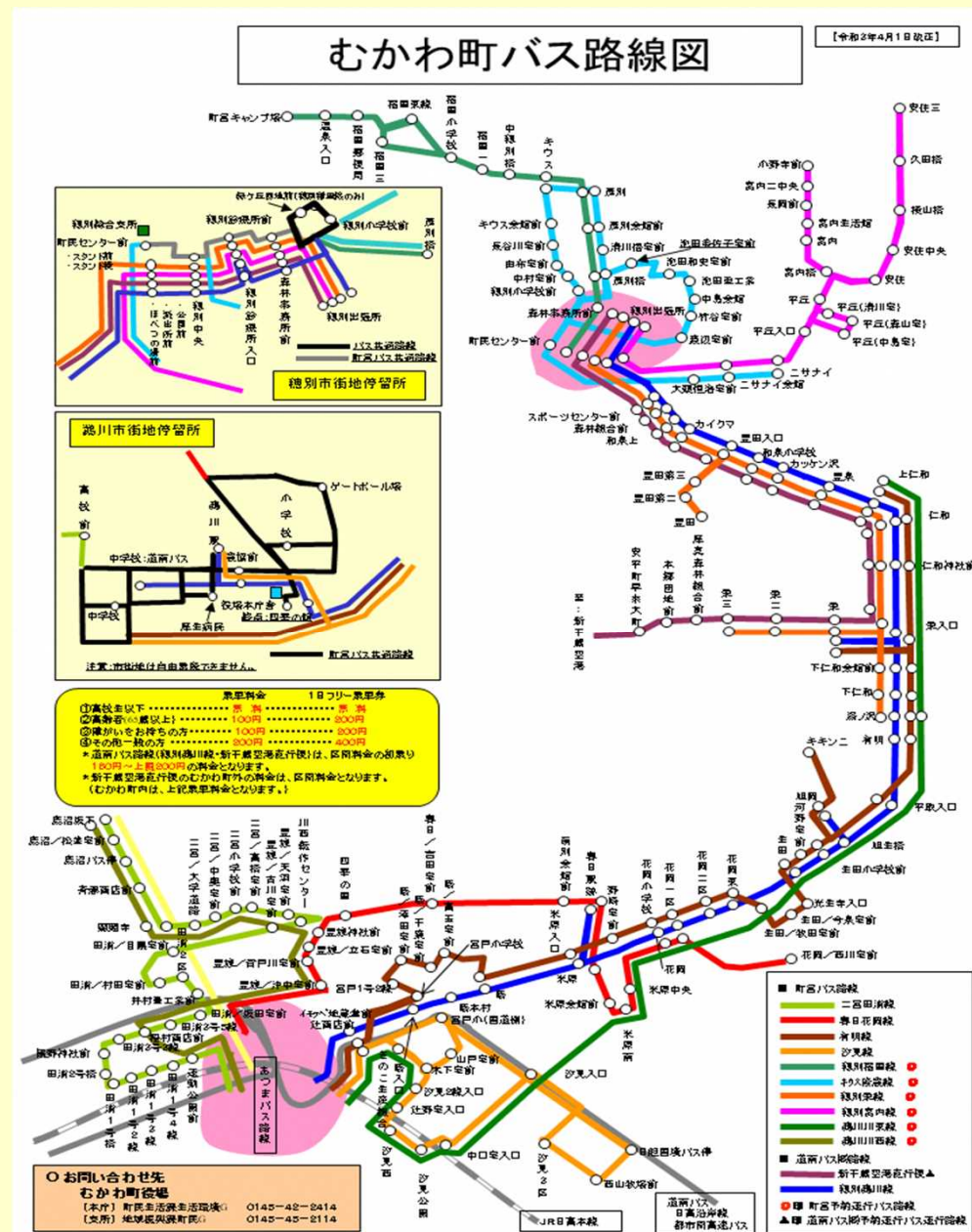
- ・地域住民等のアンケート調査
- ・関係者ヒアリング
- ・町営バス等乗降調査 など

○地域公共交通活性化協議会開催状況

むかわ町地域公共交通活性化協議会

- 第1回協議会(5/9書面)、地域内フィーダー系統確保維持計画の変更
- 第2回協議会(5/31書面)、計画策定に係る事前調査業務の実施等
- 第3回協議会(6/21書面)、協議会規約の一部改正
- 第4回協議会(6/28)、事業計画及び収支予算、協議会規約の一部改正等
- 第5回協議会(1/17)、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

公共交通の概要



むかわ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

①既存資料による地域及び公共交通の整理

国勢調査等の各種統計調査データや充基本台帳データ等を活用しながら、人口・世帯の状況、各種施設の立地状況や公共交通の利用状況等を整理。また、本町の地域特性を把握し、計画策定する上で関連計画（第2次むかわ町まちづくり計画、むかわ町都市計画マスタープラン、むかわ町まちなか再生基本計画等）の内容を整理し公共交通の機能・役割を整理。

②地域公共交通実態調査

- ・住民の外出実態や公共交通の利用可能性（住民ニーズ等）を把握するため町民アンケート調査を実施。
- ・交通事業者や庁内関係部署、町内の社会福祉法人等のヒアリング調査を実施し、地域の輸送資源の連携可能性や交通利便性の向上等について検討。
- ・町内の公共交通機関や輸送資源の運行状況や利用実態を調査・整理。

③地域特性を活かした地域公共交通の課題整理

地域公共交通実態調査で把握した公共交通の現況、利用実態、ニーズ把握調査を実施中。

④短期間の実証運行計画

穂別地区における公共交通の改善に向けた交通システムとしてサポート交通の導入を検討。次年度に短期間の実証運行を行うため実証運行計画（案）を作成。

⑤協議会等の開催

12月までに地域公共交通活性化協議会を4回開催し、地域公共交通実態調査の結果や現状と課題等に基づいた協議を重ね、地域特性に応じた短期間の実証運行計画（案）を策定。

むかわ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【町における地域の状況・課題整理】

【むかわ町の現状・問題点】

- ・公共交通が利用しにくい環境のため、高齢者となっても免許を返納することができない
- ・JR日高本線と路線バス間の乗継や鷗川地区中心部と穂別地区中心部を結ぶ幹線交通の利便性が低い

【むかわ町の課題】

- ・自動車に頼ることなく、生活移動ができる交通体系の構築
- ・地域公共交通網のシームレス化
- ・持続可能な地域公共交通体系の構築

【鷗川地区の現状・問題点】

- ・現行の道南バス路線や町営バス路線が、利用者ニーズに配慮した効率的で利便性の高い運行体系になっていない
- ・鷗川地区中心部と穂別地区中心部を結ぶ幹線交通が運行されているが、JR日高線本線や都市間交通バスとの乗り継ぎが不便

【鷗川地区の課題】

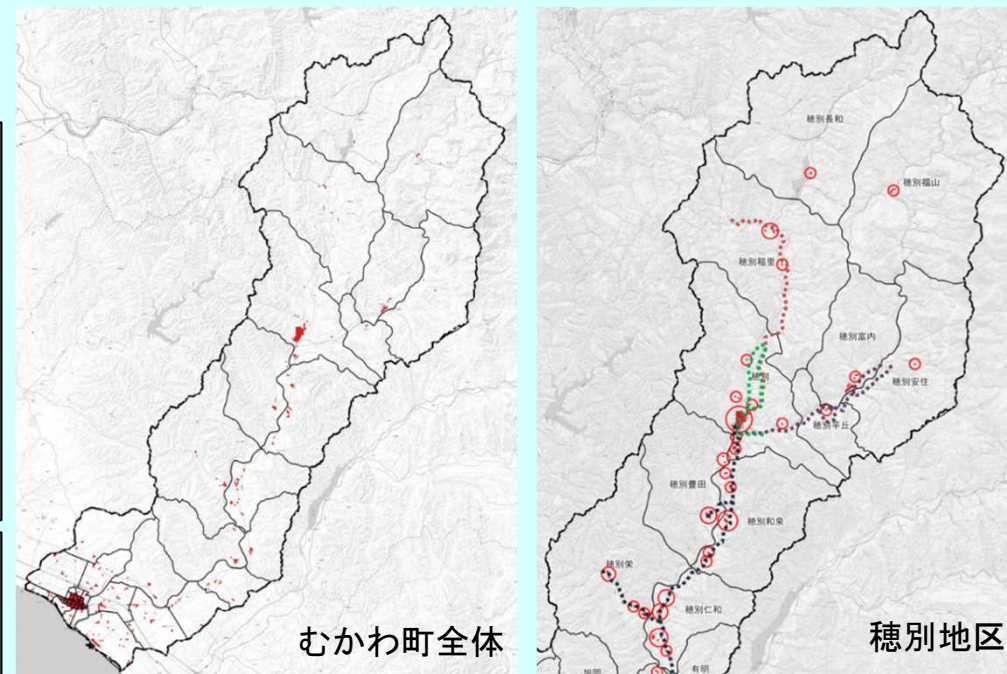
- ・利用者ニーズに配慮した現行の町営バス路線等の見直しを検討
- ・デマンド交通の路線統合・エリア拡大の可能性を検討

【穂別地区の現状・問題点】

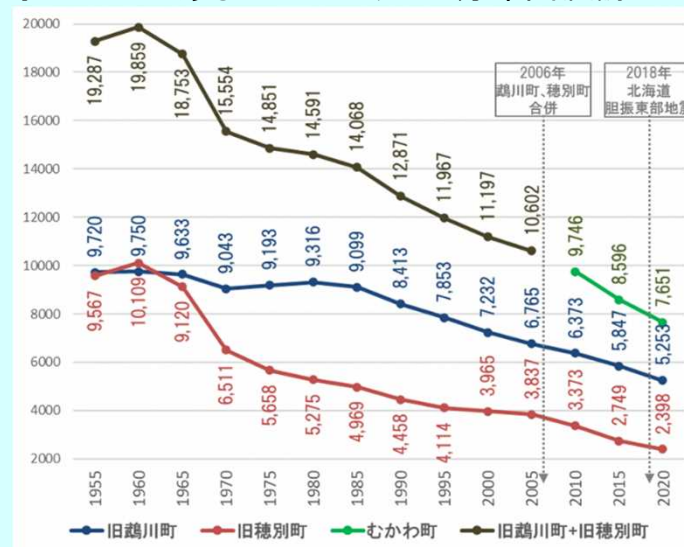
- ・現行の道南バス路線や町営バス路線が、幹線を中心に運行されており、買い物や通院利用において不便
- ・穂別地区に点在する集落で生活する高齢者等が、市街地までの移動が不便

【穂別地区の課題】

- ・利用者ニーズに配慮した現行の道南バス路線等の見直しを検討
- ・地域間幹線や交通結節点までのサポート交通の可能性を検討



むかわ町の人口がある100mメッシュ分布図(国調2020小地域データ)



むかわ町の人口の推移(国勢調査)

むかわ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

背景・必要性

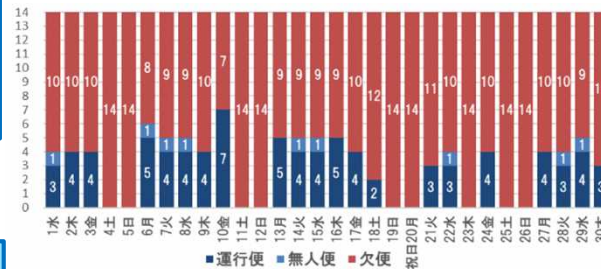
穂別地区で買い物・通院等の移動の問題が顕在化

- 穂別地区での著しい人口減少・高齢化
- スーパーマーケットの撤退など生活利便性の低下

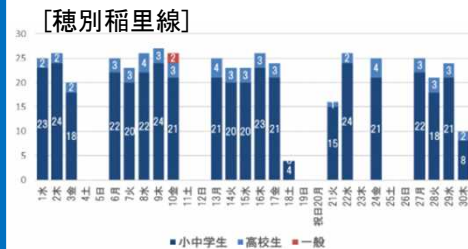
予約制の定時定路線の町営バスの問題が顕在化

- 地区内路線では、小中学生以外の予約乗降客が少なく、予約がなく欠行便が75～85%
⇒交通空白地有償運送を見据えた住民によるサポート交通の検討が必要

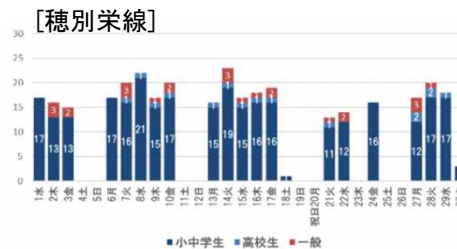
穂別地区で買い物・通院等の移動の問題が顕在化



穂別稲里線の日別運行便状況(2021年9月)



穂別地区内路線の日別乗降客状況(2021年9月) (2021年9月)



穂別キウス隆農線



実証運行計画(素案)

(1)対象エリア

穂別地区の穂別富内線と、穂別栄線の運行エリア

(2)実証実験の方法

①運行車両

- ・レンタカーにより運行する。

②運転手

- ・対象エリアから運転手を予め募り登録
- ・運転手には、運転実績に応じて賃金を支払う

③運行エリア

- ・穂別地区内の移動に限定でドアツードアの運行

④予約方法

- ・原則、電話による常時受付

⑤利用料金

- ・実証実験では、無料とする。

(3)検証内容

①サポート交通の需要の把握

- ・実験の利用者数

②利用者の評価(アンケート、聞き取り調査)

- ・予約方法、ドアツードアの評価
- ・本格運行の際の料金

③運転の担い手側の評価(アンケート、聞き取り調査)

- ・予約方法や負担
- ・運転する上での不安事項
- ・やりがい感
- ・賃金
- ・本格運行の際の自家用車利用

むかわ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

主な課題

人口減少

むかわ町で暮らし続けるための、利用者ニーズに即した公共公通網の形成が必要

都市機能

鶴川地区、穂別地区の特性を考慮した、利便性の高い公共交通システムの構築が必要

町内交通

町民の公共交通への意識の醸成、利用を促進するための施策が必要

町内交通

交通事業者の事業存続も含めた行政支援のあり方の検討が必要

広域交通

広域交通であるJRや路線バスとの接続性を確保した町内交通の整備が必要

経費削減

路線バスの再編や運行形態の変更などによるコスト削減と公共交通サービスの維持・確保

基本方針

町民・事業者・行政が共に創る、持続可能な公共公通網の形成

方向性①

町内交通資源を活用した公共交通網の形成

➡ 各種調査終了後に具体的な検討案を示します。

方向性②

むかわ町と生活圏自治体を結ぶ広域的な公共交通の確保・維持

➡ 各種調査終了後に具体的な検討案を示します。

方向性③

公共交通の積極的な利用を促す施策・事業の展開

➡ 各種調査終了後に具体的な検討案を示します。

方向性④

持続的な公共交通の確保・維持に向けた取組の継続

➡ 各種調査終了後に具体的な検討案を示します。

むかわ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業実施の適切性

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当初の計画から遅れていたが、予定していた事業は全て年度内に実施する予定である。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定の際は、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。